

>>>> 研究成果発表会を開催 <<<<

7月23日に当センターで平成27年度研究成果発表会を開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から106名の参加がありました。

今年の研究成果発表会は、県内企業との共同研究成果や平成26年度に終了した研究テーマなど、口頭発表6テーマ、ポスターセッション13テーマの発表を行いました。

また、昨年に引き続き、神奈川県との交流事業の一環として、神奈川県産業技術センターから口頭発表1テーマ、ポスターセッション1テーマの

発表も行われました。

参加者からは、当センターの研究内容や研究成果の試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見交換が行われました。

なお、発表会のプログラム及び発表の概要をまとめた予稿集については、当センターのwebサイト（刊行物）に掲載してありますので、ご覧ください。

(<http://www.kagoshima-it.go.jp/>)



口頭発表の様子



ポスターセッションの様子

>>>> 特許登録「タブレット鍛造方法」 <<<<

県と株式会社秦野精密が共同で平成26年5月30日に特許出願した「タブレット鍛造方法」が、平成27年7月10日に特許登録されました。（特許第5771801号）

本発明は、所定の厚さを有するタブレット（四角）状素材を用いて鍛造品を成形するタブレット鍛造方法であり、幅狭の薄板コイル鋼材をせん断してタブレット状素材を得るせん断加工工程と、タブレット状素材の板厚と直交する方向から圧縮加工して鍛造品を成形するタブレット鍛造工程と、タブレット鍛造工程で成形された鍛造品を厚さに対して直交する方向からシェーピング加工する工程により、歩留まりよく鍛造品を成形することが特徴です。



>>>> ハイテク研究会セミナーを開催 <<<<

7月3日に、当センターでハイテク研究会「電気用品安全技術研究会」の活動の一環として、日置電機株式会社から講師を招いて「抵抗・インピーダンス・LCR計測の基礎」を開催し、36名（18機関）の参加がありました。

抵抗やインピーダンスの基本的な測定原理や測定方法、またLCR測定における等価回路の違いなど、実際の測定の際の注意点やノウハウなどを交えて講演して頂きました。



セミナーの様子

>>>> 鹿児島県本格焼酎技術研究会講演会を開催 <<<<

7月10日に、鹿児島県本格焼酎技術研究会の平成27年度第1回講演会が開催されました。同研究会の会員である県内焼酎製造技術者を中心に176名の参加がありました。講演内容は、以下のとおりでした。

- ①「米麴造りの要点」 (株)河内源一郎商店
代表取締役 池田 隆一 氏
- ②「元気があれば何でもできる」
MBCタレント 野口 たくお 氏



講演会の様子

>>>> インターンシップの受け入れ <<<<

8月17日～21日の期間、当センターにおいてインターンシップの受け入れを実施しました。(参加校：2校 計3名)

食品・化学部では、発酵食品に関する実習の一環として、味噌の製造実習と成分分析を通じて、微生物や酵素の働きおよび発酵過程での成分変化について考察しました。

参加した学生からは、「今回の実習により製造や分析の貴重な体験ができ、今後の研究や将来の進路選択に活かしていきたい。」という声が聞かれました。



食品・化学部における味噌製造実習